



奈良県議会議員（奈良市・山辺郡選挙区選出）

No.3  
2023.11.1発行

元・奈良テレビ放送  
アナウンサー

# 伊藤まさやの県政フレッシュ

（議会活動報告）

発行：伊藤まさや事務所

〒630-8241奈良市高天町38-5 佐川第一ビル403

## Activity report 9月県議会 緊張の壇上へ 一般質問へGO!



▲県議会議務局提供

伊藤の  
一般質問の  
様子は  
こちらから



9/26 本会議一般質問

こんにちは。お元気でいらっしゃいますか。  
9月県議会が、10月20日に終わりました。  
県議会議員には、たくさんの役目がありますが、  
県民のみなさんの声を聞き、その声を議会に反映させる「質問」は大きな仕事です。  
伊藤は、9月議会で一般質問(9月26日)をしました。  
一般質問は、知事などに対し、県庁のとり組みなどについて、直接、質問をするもので、質問時間は、25分以内となっています。

ここで簡単に「一般質問」の流れを紹介していきます。

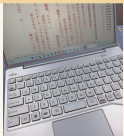
### 県議会 「一般質問」の流れ



約1カ月前に、一般質問を担当することが分かります。現在の県政の課題について、県職員と打ち合わせを繰り返し、見極めていきます。そして「質問のテーマ」を絞り込んでいきます。



打ち合わせとともに、伊藤自身でも資料を集めさらには、現地に直接、取材に出向き、質問の本質に迫ります。



最終的に、難しい言葉を使わず、誰もが聞いて分かる表現で、壇上で読む原稿をまとめていきます。テーマにした「事柄」の意味が正しいのか、正確に伝わるのか、県民の顔を思い浮かべながら仕上げていきます。



読み原稿が前日までに整うと許可を得て、議場へ、原稿を置く台の高さや、時計の位置、議場のどこに視線を定めるのか、イメージトレーニングをして当日を迎えます。



# 伊藤が「一般質問」に臨む想いとは・・・

伊藤は、奈良テレビ放送のアナウンサーとして、長く、奈良に住むみなさんと関わり、知事をはじめ、奈良県職員が、どのようにして、県民の暮らしを明るく、希望の持てるものにしようとしているのか、取材を通して、奈良県政を見つめてきました。伊藤は、奈良市・山辺郡 山添村が選挙区ですが、北は奈良市から、南は十津川村まで、39のすべての市町村をバランスよく 元気な地域にしていく「均衡ある発展」に力を尽くすのが、県議会議員として、与えられた役目だと考えています。そのような想いを持つ中で、山下県政が、私の任期とともに始まりました。山下知事は、その今年度予算のうち、15の項目について予算を使うことを全部または、一部を停止しました。その衝撃は、たいへん大きいものでした。伊藤は、地域の「均衡ある発展」を実行していく立場として、停止された予算については、さらに議論を続け、答えを出すべきだと考え、一般質問に立ちました。

## 伊藤の一般質問、2つの重要課題に迫る！！

# 1

奈良県中央卸売市場の再整備について



市場の建物は約50年が経っています。業者からは、早急な建て替えが求められています。そこで、新たな食の拠点となる「賑わいエリア」と一緒に再整備し、市場の活気をつくる構想がありました。しかし、山下知事の予算執行査定で再検討へ。山下知事、これからどうするのですか？



出典：奈良県 令和5年度予算案の要点

市場エリアにあたっては、市場事業者の取扱量や経営状況、再整備後の新しい市場施設利用料等を総合的に勘案して判断する必要がある。賑わいエリアは、今後、民間事業者の提案や大和郡山市の意見も聞きながら、今年度中には、新たな再整備の方針を策定する(答弁抜粋)

山下知事

# 2

大和平野中央田園都市構想について



予算が執行停止され、県が主体となった県立工科大学の設置も見直すとしています。しかし、山下知事が言う、教育、人材の育成、産業や雇用の創出を進めるのであれば、当初の構想は「有効」です。今後、どのような具体的な代案を地域に示すのか、大学の再考も含めて、山下知事の考えを聞かせてください。

県立工科大学の設置は、必要性が低く、考えに変わりはない。磯城郡3町とは、企業誘致や産学官連携を含む土地活用の様々な可能性について、丁寧に協議を進める。引き続き、大和平野中央地域の振興・発展に向けて、県と3町が協力して取り組む(答弁抜粋)

山下知事

## POINT 山下知事 ここを分かってください！

- 1 県が主導権の取り組みが多く、県と市町村が対等であるとは到底言い難い
- 2 予算執行停止された取り組みのほとんどが「まちづくり」。執行停止の影響は、地域の将来の発展を根底から覆すことになっている
- 3 予算執行を停止した分野に、山下知事が考える「未来のビジョン」は本当にあるのか

## 真剣勝負、自席からの再質問

壇上からの質問は、事前に読み原稿が出来上がっています。しかし、一般質問の持ち時間25分をどのように使うかは各議員の裁量です。伊藤は、およそ12分を、自席からの再質問の時間に残しました。テレビで言うと、台本なしの生放送。緊張のやりとりが、山下知事と続きました。すべてはご紹介できませんが（QRコードを読み込んで全やりとりを見ることは可能です）一部を紹介します。

（一部抜粋・要約）

伊藤の一般質問の様子はこちらから



▲県議会事務局提供

### 県中央卸売市場の再整備

**伊藤** 一括再整備に手を上げている業者は何社ですか

**山下知事** 1社「独立採算」でもできるという事業者があった

**伊藤** その1社が「一括再整備」の「姿」をしっかりと見せないと、市場に残る業者も、残るかどうかの判断ができないのではないかと。

**山下知事** 賑わいエリアのイメージにあるものは、必ずしも市場に必要ながなく、公園にあれば十分である。こうしたものを県が建設費も、運営費も負担してやる必要がない。

**伊藤** 県と市場関係者が結んだ市場再整備に関する協定書がある。「整備に必要なとなる用地取得、建設工事は県が実施するものとある。」賑わいエリアの整備も、県に責任があると思うがどう思いますか。

**山下知事** ちょっとすいません、その協定書を見ないとわからないので、お時間をください。

議長「暫時休憩いたします」

休憩は約25分にも及んだ

暫時休憩は

県議会本会議では大変珍しい



### 大和平野中央田園都市構想

**伊藤** 工業団地のようなものをつくるということですか。

**山下知事** おっしゃる通りです。

**伊藤** 磯城郡3町は知っているのですか。

**山下知事** 企業誘致を中心として土地活用するということで、ワーキングチームをつくって今、話を進めている。

**伊藤** 三宅町の住民説明会で「元地権者の意見は聞いてもらえないのか」という質問にどう答えましたか。

**山下知事** 記憶はしておりません。

**伊藤** 「意見は聞くが決定権は県にある」と言った。

**山下知事** 県が所有権を持っている土地ですから、それをどう使うかは県が決めるのは当たり前

**伊藤** では、これから3町の意見は聞いてもらえないということですか。

**山下知事** そうは言ってないですよ。ワーキンググループを・・・

**伊藤** 老朽化した県の施設を安易に移転するような土地利用は考えていませんか。

**山下知事** そうしたことが全くないとは限らないと思います。



▲予算審査特別委員会(県議会事務局提供)



▲予算審査特別委員会(県議会事務局提供)

## 編集後記

初めての一般質問。議場にいるみなさんはもちろんですが、私の目の前にいない、奈良テレビやインターネットの視聴者を意識しながら、心を込めて、原稿を読みました。また、手話通訳の方にもお世話になりました。ありがとうございました。

ここであらためて記しておきたいのは、山下知事の予算執行停止は「まちづくり」を止めたのです。執行停止された予算は、年度末までにどのようにするのか。本来であれば「減額補正」するべきです。この春、地方自治法の一部が改正、公布されました。第89条の2項には「議会は、当該普通地方公共団体の重要な意思決定に関する事件を議決し」とあります。

簡単に言うと、自治体の運営に関わる重要事項については、首長ではなく、議会が決定すると明記されています。予算を大幅に変更するのであれば、議会に対して、何らかのアクション(減額補正など)を起こすべきなんです。それが筋なんです。

私は、全身全霊の力を使って、この9月県議会に臨みました。質問の最後には、私の真剣な要望に、山下知事が笑って対応するという場面がありました。山下知事が議会や県民と、どのように向き合っているのか、その姿勢の一端が見えたような気がしました。9月県議会では、本会議のほかに、

「経済労働委員会」で、県内の小規模事業者の経営を支援すること、観光地のゴミ箱設置や複雑なゴミ処理にかかわる法律などの簡素化について聞きました。さらに、「南部東部地域振興対策特別委員会」では南部東部地域での公共交通の確保について要望しました。そして「予算審査特別委員会」においては、山下知事をはじめ、県庁各部局の担当者に、関西万博や国民スポーツ大会などについて指摘、要望、改善を求めました。こちら、奈良県議会のホームページから録画を見ることができますので、QRコードを読み込んでご覧ください。



経済労働委員会



南部東部特別委員会



9/29 予算審査特別委員会



10/3 予算審査特別委員会(総括)

次は、12月県議会となります。季節が秋から冬へ、大きく変わります。インフルエンザ、新型コロナウイルスなど、感染症対策は、手洗いやマスクなどが基本です。どうぞご自愛いただき、お過ごしください。

## 伊藤公式 SNS

ホームページ



エックス(旧ツイッター)



フェイスブック



FM五條のサイマル放送



皆様の声  
お寄せください

伊藤まさや事務所

〒630-8241 奈良県奈良市高天町38-5

佐川第一ビル403号室

メール : info@itomasaya.nara.jp

